

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月18日更新

事務事業名	歯科保健事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名 齋藤 和広
	施策	5 健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 栗崎 璃香
	施策の柱	20 病気の早期発見	所属班	健康推進班	(内線) 1635
予算科目	会計一般	款 4 項 1 目 2 事業連番 11719 根拠法令	健康増進法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物塗布 ①対象者：1歳6か月児健診終了者～3歳児健診対象者②実施方法：1歳6か月児健診・3歳児健診会場にて実施。お口の健康手帳・母子健康手帳持参。料金は無料。③実施回数：6か月毎に希望者へ塗布。④周知方法：1歳6か月児健診時に事業の周知を行う。また、すこやかカレンダーに掲載。市でのフッ化物塗布が終了となる3歳児健診において、継続を呼びかけるチラシを配布し、啓発を行う。 ●フッ化物洗口 ①対象者：年長児および年中児②実施方法：週5回、歯みがきの後に1分間、洗口液を用いてうがいをする。年に1回、各保育園・幼稚園において保護者へ歯の健康講話の実施や年に1～2回、歯科衛生士による訪問指導を実施している。 ●妊婦歯科健診 ①方法：母子健康手帳交付時に受診券を発行し、市内委託歯科医院（H30年度：20カ所）で個別健診として実施している。②費用：3500円（自己負担無料）③対象者：母子健康手帳を発行した妊婦及び転入した妊婦④期間：通年 ●歯周疾患検診 ①市内委託歯科医院と委託契約（平成30年度：20カ所）②費用：2,900円（自己負担無料）③対象者：4月1日時点で、40・50・60・65・70歳の市民④期間：6月1日～3月末日⑤内容：歯科検診、歯肉の検査、歯科指導等⑥方法：対象者自身が直接医療機関へ予約し通知葉書を持参し受診する。 ●歯科保健連絡協議会【目的】生涯にわたって口腔の健康を維持することで健康な日常生活を過ごすことを目的として、市では各ライフステージにおける歯科保健事業を展開している。委員：11名
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物塗布・必要な物品（塗布液等）の購入→お口の健康手帳（HAPICA）の印刷→1歳6か月児健診時に事業についての説明を行い、お口の健康手帳（HAPICA）を渡す。歯科衛生士よりフッ化物塗布。市でのフッ化物塗布が終了となる3歳児健診においては、フッ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ（手作り）を配布し啓発。→アンケートの整理・入力。 ●フッ化物洗口：関係機関（園、園歯科医、歯科衛生士等）と連携をとりながら、フッ化物洗口開始に向け、保護者へフッ化物洗口の申込書配布を実施。また、園歯科医より指示書を作成。月に1回、実施報告書の提出があるため、各施設の実施状況の把握。年に1回、保護者へ歯の健康講話と園へ歯科衛生士を派遣し、指導を行う。薬剤と物品を購入、保管・管理している。 ●妊婦歯科健診：①市内委託歯科医院と委託契約②受診券発行時に産前との関係性を説明し、受診券を渡す。③受診後、医療機関へ支払い事務④検診データの入力及び整理 ●歯周疾患検診：①市内委託歯科医院と委託契約②5月頃、対象者への受診券を個別通知する。③受診後、委託機関へ支払い事務④検診データの入力及び整理 ●歯科保健連絡協議会：会議日程調整、委員委嘱状交付の起案及び会議開催の起案、通知発送、会議資料作成、会議実施、会議録作成、報償費の支払い、欠席者に会議録の送付
【主な予算費目】	賃金、報償費、需用費（消耗品費、印刷製本費、医薬材料費）、役務費、委託料
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物塗布については、啓発が進んだため、保護者が自ら歯科医院に受診して塗布をしているケースが増加している。市での塗布が終了となる3歳児健診にて、フッ化物塗布の継続を呼びかけるチラシの配布を開始したことについて、「とてもわかりやすい。」「こういう効果があるなら、ぜひ今後も塗布を続けたい。」という保護者からの声がある。 ・市内歯科医師より、妊婦・歯周疾患検診受診率向上のために周知方法・検診方法を見直しをする必要性があるとされている。また、自己負担徴収により、患者負担が増えて受診率の低下につながることがあり、自己負担無料での検診を実施するよう言われている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物塗布：むし歯予防の一環として、1歳6か月児健診及び3歳児健診でお口の健康手帳（HAPICA）を活用してフッ化物塗布を行った。また、3歳児健診では、フッ化物塗布の継続を呼びかけるチラシ（手作り）を配布し啓発した。【実績】フッ化物塗布：1歳6か月児健診 633件、3歳児健診 704件、塗布の割合 134件 ●フッ化物洗口：歯の健康講話やフォローアップ指導を通じ、むし歯予防の啓発を行った。【実績】認可保育園及び私立幼稚園の計 19園で実施。（716人実施） ●妊婦歯科健診：母子健康手帳交付時に産前との関係性を説明し、受診券を渡した。【実績】対象者：643人、受診者数239人、受診率37.2% ●歯周疾患検診：歯周疾患予防のため市内歯科医院と契約し、40、50、60、65、70歳の対象者へ個人通知を行い実施した。【実績】対象者4,068人、受診者数432人、受診率10.6% ●歯科保健連絡協議会：12月6日に開催。【内容】平成29年度実績報告及び平成31年度事業計画を協議。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フッ素塗布：今年度も同様に実施する。 ●フッ化物洗口：実施園の拡大を目指し、園データの集計や実施園の取り組み状況等を未実施園に示していく。 ●妊婦・歯周疾患検診：平成30年度同様、実施予定である。受診率向上のため、周知方法を見直し、市民へのさらなる啓発を行う。 ●歯科保健連絡協議会：今年度同様実施予定である。 	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由	
→ ア：塗布者数(再掲)+フッ化物洗口実施者数	消費税増税による委託料の増	
イ：妊婦・歯周疾患検診受診者数	歯周疾患検診通知費用の単価増額による増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
●フッ化物塗布：1歳6か月児健診対象児～3歳児健診対象児	→ ア：1歳6か月～3歳児の数+年中・年長の幼児数	
●フッ化物洗口：年中児および年長児	イ：妊婦・歯周疾患検診対象者数	
●妊婦歯科健診：母子健康手帳を発行した妊婦及び転入した妊婦		
●歯周疾患検診：40歳・50歳・60歳・65歳・70歳の市民		
●歯科保健連絡協議会：市が行う歯科保健事業(幼児フッ化物塗布、フッ化物洗口、幼児歯科健診、妊婦歯科健診、歯周疾患検診)		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
●フッ化物塗布・洗口：むし歯にならないようにする。(う歯の保有率の低下)	→ ア：小学校1年生のむし歯保有率	
●妊婦・歯周疾患検診：むし歯・歯周疾患の早期発見ができる。	イ：妊婦・歯周疾患検診の受診率	
●歯科保健連絡協議会：協議会メンバーによる助言・協議のもと、市歯科保健事業が円滑に運営できる。		
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画～年度 0
●フッ化物塗布・洗口：フッ化物塗布・洗口を行うことにより、う歯保有率に良い影響があるかを把握するため、小学校1年生におけるむし歯の保有率を成果指標として設定した。		
●妊婦・歯周疾患検診：自覚症状のない時期に、検診を受診することで、むし歯・歯周疾患が早期に発見できる。受診率が向上することが早期発見につながるため、成果指標とする。		

各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	2,134	2,226	2,300	2,187	2,300	2,300	2,300	2,300
	人	700	665	750	671	750	750	750	750
② 対象指標	人	3,352	3,440	3,500	3,464	3,500	3,500	3,500	3,500
	人	4,623	4,538	4,600	4,711	4,600	4,600	4,600	4,600
③ 成果指標	%	2.7	1.9	1.8	4.5	1.8	1.8	1.8	1.8
	%	15.1	14.7	16	14.2	16	16	16	16
入費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円		477	1,485	1,589	802	802	802
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		2,246	1,444	1,135	2,209	1,950	1,950
	(A) 事業費計	千円	0	2,723	2,929	2,724	3,011	2,752	2,752
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	3	8	5	4	5	5	5
正規職員従事人数	人	3	8	5	4	5	5	5	
延べ業務時間	時間	90	797.5	1,000	532	1,000	1,000	1,000	
(B) 人件費計	千円	0	3,154	3,984	2,097	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	5,877	6,913	4,821	6,995	6,736	6,736	

事務事業名	歯科保健事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 小学校1年生におけるむし歯保有率は増加がみられた。フッ化物洗口・塗布だけに頼らないよう、ブラッシング指導に力を入れていく必要がある。 妊婦・歯周疾患検診受診率はやや減少傾向であるため、勧奨方法について検討していく必要がある。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度も、むし歯保有率の低下と妊婦・歯周疾患検診の受診率向上を目指す。そのためにも、歯の健康に対する意識を少しでも高めていけるよう、講話や広報・ホームページ等での周知を図る。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 フッ化物塗布・洗口では、幼児期に園児や保護者に対する歯科指導の機会も増えるため、指導内容を充実させて、さらなるむし歯予防効果を高める。 妊婦・歯周疾患検診では広報・ホームページなどで周知を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的知識と技術を要するため、委託して実施している。また、最小限の事業費で実施しているため削減はできない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 フッ化物塗布・洗口については、健診スタッフで対応しているため、効果的である。 妊婦・歯周疾患検診は、契約方法、支払い事務等最低限の職員で実施している。 歯科保健連絡協議会は必要最小限の委員構成としている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 フッ化物塗布・洗口については対象を限定しているが、予防的事業であるという目的のため適切である。 歯周疾患検診は各年代での検診機会を設けている。妊婦・歯周疾患検診共に自己負担無料のため、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 フッ化物塗布は、市の幼児健診と同時に実施しているため、他団体への事業の移行はできない。フッ化物洗口については、園職員に実務を任せており、役割分担は適正である。 妊婦・歯周疾患検診は、専門的技術・知識を必要とするため、委託医療機関にて実施している。よって、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

園での歯の健康講話やフッ化物洗口を実施することで、就学までの継続した歯科保健事業が展開できており、この機会にむし歯予防に対する意識を高めていく。また、妊婦・歯周疾患検診が歯周病やむし歯等を早期発見・早期治療する機会となっているため、今後も経過計画通り実施する。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>フッ化物塗布・洗口については、乳幼児健診や園への講話を機会としてむし歯予防等の啓発をさらに進める。 妊婦・歯周疾患検診においても、市報や市ホームページ等を活用して、健診啓発と受診勧奨を行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>フッ化物洗口未実施園は、既の実施している園の状況を共有し、専門機関と連携しながら正確な情報を提供し、拡大に向ける。 妊婦・歯周疾患検診率向上に向け、妊婦受診券発行時や医療機関と連携して、受診啓発を行う。</p>																						